

令和5(2023)年度フロンティア入試 Type I 基本方針

医学部保健学科作業療法学専攻

趣 旨 ・ 目 的	作業療法は、障害を持つ人がその人らしい生活を作り直すことを目指すリハビリテーションです。基礎的な知識の習得はきわめて重要であります。思考の論理性・独創性もまた大切です。そこでフロンティア入試では、本当に作業療法学、リハビリテーションを専門として学びたいという学生を、学業成績とともに諸活動における成果や経験の学業以外での活動、社会活動の豊富さによって評価します。指導力や協調性を持つ学生を選ぶことが目的です。
募 集 人 員	7名 ※ 選抜の結果、合格者が募集人員に満たない場合、その欠員は本学が実施する一般選抜（前期日程の学部別入試）の募集人員に加える。
求 め る 学 生 像	医学部保健学科で学習するに十分な学力を持つ以下の学生 ・人の健康について関心を持ち、深く探求する学生 ・チャレンジ精神が旺盛な学生 ・学業以外に対して良く努力して成果を上げた経験を持つ学生 ・人を尊重することができ、協調性を有する学生
出 願 資 格 ・ 要 件	令和5(2023)年度大学入学共通テストの教科・科目のうち本学が指定した教科・科目（「大学入学共通テストの教科・科目と配点」を参照）をすべて受験する者で、次に掲げる資格及び要件に該当するもの 1. 資格 次のいずれかの資格に該当すること。 ① 高等学校又は中等教育学校を令和5(2023)年3月に卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき、令和4(2022)年4月から令和5(2023)年3月までに卒業又は卒業見込みの者 ② 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和4(2022)年4月から令和5(2023)年3月までに修了又は修了見込みの者 2. 要件 合格した場合、入学を確約できる者
選 抜 方 法	調査書、個人評価書、コンピテンシー評価書、自己推薦書、諸活動の記録、面接及び大学入学共通テスト等の結果を総合して合格者を決定する。 1 第1次選考 調査書、個人評価書、コンピテンシー評価書、自己推薦書、諸活動の記録により選考を行う。 2 第2次選考 第1次選考に合格した者に対して、面接を行う。 さらに、令和5(2023)年度大学入学共通テストの結果も併せて総合評価する。 ・面 接：意欲、目的意識、論理性、協調性、適性、基礎学力等を問う。 ・大学入学共通テスト：基礎学力を問う。

医学部保健学科作業療法学専攻

大学入学共通テストの教科・科目と配点

- i) 令和 5 (2023) 年度大学入学共通テストの受験を要する教科・科目
- ・国 語
 - ・地理歴史・公民：「世界史B」，「日本史B」，「地理B」，「倫理，政治・経済」から 1 科目選択
※ 2 科目を受験している場合は，第 1 解答科目を採用する。
 - ・数 学：「数学Ⅰ・数学A」を必須とし，「数学Ⅱ・数学B」，「簿記・会計」，「情報関係基礎」から 1 科目選択
※ 「簿記・会計」，「情報関係基礎」を選択解答できる者は，高等学校又は中等教育学校においてこれらの科目を履修した者に限る。
 - ・理 科：「物理」，「化学」，「生物」，「地学」から 2 科目選択
 - ・外国語：「英語（リスニングを含む）」，「ドイツ語」，「フランス語」，「中国語」，「韓国語」から 1 科目選択

- ii) 大学入学共通テストの配点

第 2 次選考時に利用する大学入学共通テストの成績は，次の 5 教科の合計点数 900 点を 50 点満点に換算する。

教科名	国語	地理歴史・公民	数学	理科	外国語	合計
点 数	200 点	100 点	200 点	200 点	200 点	900 点

※なお，リスニングを免除された者については，リーディング（100 点満点）を 200 点満点に換算して利用する。